

平成 29 年度第 2 回高知県食育連携推進協議会 議事要旨

日時：平成 29 年 11 月 28 日（火）午後 2 時～午後 4 時

場所：高知共済会館 4 階浜木綿

出席者：委員 9 名（欠席 3 名）

事務局 10 名

（食品・衛生課 1 名、地域農業推進課 1 名、漁業振興課 2 名、
幼保支援課 1 名、生涯学習課 1 名、保健体育課 1 名、
健康長寿政策課 4 名）

○協議事項

- （1）第 3 期高知県食育推進計画（原案）について
- （2）策定までの今後のスケジュールについて

○議事等概要

（1）第 3 期高知県食育推進計画（原案）について

事務局から各章ごとに説明し、協議概要は以下のとおり。

<「第 1 章計画の基本的事項」、「第 2 章現状と課題」>

委員からグラフについて、積み上げのグラフに合計を加えてほしいこと、母数が非常に少ない 20 代 30 代は合わせたグラフにするなど、書き方に工夫が必要だと意見が出された。

事務局からグラフの合計値を記載し、20 代 30 代の値は合わせる方向で検討したいと説明があった。

<「第 3 章目指す食育推進の方向」>

委員から「災害時の栄養・食生活支援の取組」に言葉をそろえてはどうかと意見が出され、事務局は対応することとした。

<「第 4 章具体的な取組」>

（第 1 節）

委員から第 2 章で現状と課題を把握しているが、第 4 章でも現状と課題を細分化して見る必要があるのか、1 つにまとめてはどうかという意見が出された。

また、取組の重点になるような具体的な柱があるとみんなが一体感を持ってすすめていきやすいのではないかとの意見が出された。

次に、低栄養の指標として 65 歳以上で BMI20 以下の割合を載せてはどうか、小学校で野菜を食べている家庭が少ないため、今の 30 代～50 代の保護者に対する対策や家庭がもう少し野菜摂取を増やすための対策が必要ではないかと意見が出された。

さらに、現状なら現状の結果でまとめて、課題対策として第 4 章に入れる。また、取組については、細かく入れすぎると動きにくくなるのではないかとの意見が出された。

事務局から現状と課題の構成について再整理すること、また、取組については、ある程度具体性をもった大きな方向性というところで、再検討することの説明があった。

（第 2 節）

委員から生活リズム名人認定者数の目標値について質問が出され、事務局から目標値については、高知県教育振興基本計画の目標値であることの説明があった。

（第 3 節）

委員から農業の現場でも食育や地産地消の取組を行っていることの意味が出され、事務局で追加記載することとした。

(第4節)

委員から「栄養の日(8月4日)」を加えていただきたいこと、学生ボランティアについての記載がほしいとの意見が出され、事務局で検討することとした。

(第5節)

委員から第3節と同様に農業の場面でも学校への出前授業や料理教室などの食農教育を行っているので、盛り込んでいただきたいと意見が出された。

<「第5章食育推進の評価指標」「第6章計画の推進方法」>

委員から評価指標の一覧表について見直しをしてはどうかと意見が出され、事務局から再検討することを説明した。

また、むし歯に関する項目について食育計画に盛り込む必要があるかとの意見が出され、事務局から「食・栄養・口腔」について食育との関係性を説明し、再度検討することとした。

さらに委員から食育応援店の状況について質問が出され、事務局から検討したいとの説明があった。

そして、食育に関心を持っている県民の割合の目標値に向けての対策が弱いのではないかとの意見が出され、さらなる取組に向けた検討が必要であると提案がされた。

(2) 策定までの今後のスケジュールについて

事務局から策定までの今後のスケジュールについて、説明し、了承された。

以上で会議を終了した。